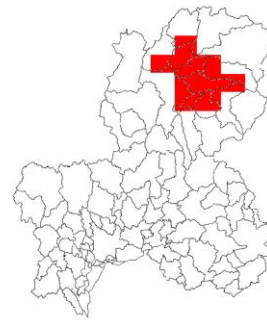


| | | |
|-----------------|--|----------|
| ムラサキ | <i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zucc. | 絶滅危惧 I 類 |
| (環境省:絶滅危惧 I B類) | | ムラサキ科 |
| 選定理由 | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。 | 写真なし |
| 形態の特徴 | 茎の高さ40-70cmになる多年草。根は太く、乾くと濃紫色になり、染料に用いられる。葉は無柄で互生し、披針形、粗い毛がある。花期は6-7月。葉の付け根の葉状をした苞葉の間に径4mmほどの白色の小さい花をつける。分果は灰白色で光沢がある。 | |
| 生態的特徴 | 丘陵の草地などに生える。 | |
| 分布状況 | 北海道～九州、朝鮮、中国、アムールに分布する。県内では県北に記録がある。 | |
| 減少要因 | 本種の分布域についてははっきりしないが、もともと生育個体数も少ない。 | |
| 保全対策 | 生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。 | |
| 特記事項 | | |
| 参考文献 | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982) | |



文責:佐藤和良